

学校点描+

プラス

18日、また長距離弾道ミサイルが発射されました。漁船などに当たったら、ただの挑発行為ではなくなります。

《K中学校》

NO.12

R4. 11. 23

担当：校長

美術の授業で制作した作品を第75回M上学童展に出展したところ、平面の部（図画・デザイン・版画）でI・Yさん、K・Kさん、S・Aさんが入賞しました。11月11日（金）～11月17日（木）の間、花と緑の交流広場に展示されています。

11月12日（土）、13日（日）とU-14Y県選抜野球大会兼東日本中学生野球大会・関東オープン予選会が県野球場で開催されました。M上地区から選抜された野球部の中学生が選抜されて、大会に参加しました。本校からは、A・Yさん、S・Kさん、Y・Hさんが選ばれています。大会の結果、見事、選抜M上チームが優勝し、来年1月に東京都調布市で開催される東日本KWB中学生野球大会の出場権を獲得しました。

U-39ゆましん紙上歌会に短歌を出したところ、H・Sさんが優秀賞、Y・Sさんが入選に輝きました。11月3日（木）のY新聞に掲載されています。

11月20日（日）ヤマザワカップ第38回県女子駅伝にS・M上地区チームにT・Aさんが選ばれ激走しました。良い経験を積んでいます。

教室のぼつんと空いたあの席は
「またね」と言つたあの子の座席

H・S
K中2年



選者より 転校していった友達でしょうか。「あの席」「あの子」という「あの」の重なりに思いがこもっています。「またね」、いいことばですね。

（11月3日Y新聞）

希望は生まれるもの

今年の合唱祭は、合唱発表をコンクール形式でなく、発表会形式にしました。競い合いがないと歌わないのでと危惧する声もありましたが、生徒たちは聞いている人に歌声を届けようと一生懸命歌っていました。今年度はさらに、日頃の学校以外で積み重ねている習い事にスポットを当てました。英語弁論からはじまり、ダンスや日本舞踊の日頃の習い事をしている生徒たちの発表の場を持ちました。他の生徒たちは仲間の姿を食い入るように見つめっていました。発表している生徒の目は本当に輝いています。

中学生と日常を共にしていると、生徒の目には2つの目があることを感じます。

一つは希望の目。自分の良さや強みを知っているうえで、起こった出来事を前向きにとらえて

いる目です。もう一つは、悲観の目。ネガティブとかマイナス思考とも同じ意味です。起こった



出来事を悲観的にとらえ、そのことを原因に自分の内に閉じこもりがちになる、または子どもによっては、暴言や暴力的な行為を行う。そんな状況のときに見せる目です。

人間ですから、その日、その時で、希望の目になったり、悲観の目になったりするのは当然です。特に、悲観の目は、危険の回避をするためにはとても大切です。ミサイル発射のニュースを聞いて、自分の所に落ちるんじゃないかと考えたり、あの人に近寄るとトラブルになりそうだから避けようと考えたり、この思考は、動物としての危機対応の能力のひとつです。でも、この思考法をどんなときにも使うようになると、悲観の目しか持てない人間になります。

ある長期にわたる心理学研究『ポジティブ心理学』がアメリカの心理学会で発表されています。悲観的な思考の癖をもつ子どもは、希望の思考を持つ子どもと比べて、将来、「離職を繰り返す」「精神疾患」「依存症」「警察のお世話」になる確率が高いという研究です。子どもの頃の環境が影響しているようです。「家族内の不和」「虐待」「家族の誰かが何かしらの依存症を持っている」そして「親が日常的に悲観的な言葉を投げかける」そんな環境の中で育っていくと、常に悲観的な思考で考える癖がつく、という研究結果です。特に若年層では、その悲観的な思考が癖となり、さらには“うつ病”に進みやすいと言われます。実は現代は、小中高生の“うつ病”が増えています。

そう考えると、最近、悲観的な中学生が増えたなあと強く思います。「勉強なんてわかるはずない」とか「いつもわたしを避けている気がする」とか「自分にはどうせ無理」とか・・・。確かにそういう面があるのかもしれません、決して、それは長く続くものではなく、“一時的”で“何もかもではなくある部分”において、“たまたま”起きた出来事に過ぎないはずなのに。

『いっつも』→『また次がある』、『何事もすべて』→『〇〇の面では』と自分自身への説明スタイルを変えることが悲観思考からの脱却です。『希望』とは、今まで悲観的に考えたことを、前向きな思考に変化させるときにこそ生まれるものなのです。

優秀賞の句。確かにちょっと心配で寂しい句と感じるかもしれません。

でも、その裏には、ちょっと期待や希望が潜んでいるようにも。

『またね』がそれです。

きりとりせん

ご意見・ご感想をお願いします。